

衆院大阪3区 国政対策委員長

わたなべ結の井上ひろし & つだ洋子 インタビュー



「全ての人々の尊厳を守りたい」これが私の政治信条

井上: 私の曾祖母は井上仲子といい、「筋骨矯正術」という、いわゆる整体術を考案した人物です。明治・大正にかけ、大阪・京都・東京などで「行気堂」という治療所を構え、貧しい人を優先的に治療。無料で施術する日には「赤い旗」を治療所になびかせたといいます。曾祖母の話は子どもの頃から父に聞かされ、いつしか私も「人の役に立ちたい」と医療の道を志すようになりました。

大阪の鍼灸学生時代に出会った恩師からは、「上医は国（政治）を治す」という教えを受け、ただ生業のための治療家になるのではなく、「政治や社会を直す」という大志を持った治療家になれと、常々諭されました。「命の沙汰も金次第」といった政治と社会の風潮が強まる時代、私が日本共産党と出会ったのは必然だと思っています。

患者の立場に立った医療

つだ: 私が38年間勤めた住吉民主診療所では、患者の医療を受ける権利を保障し、患者に寄り添う医療を追求してきました。また、医療や介護の改善に対して声をあげてきました。

医療現場では患者さんやその家族は非常に弱い立場です。医師から病気について説明を受けませんが、専門用語で一方向的に話され、充分理解ができないこともあります。しかし、治療選択をせまられます。医療費についての不安があっても言い出せない方も見てきました。どんな人でも安心して医療をうけられる様にすることが私の願いです。国民健康保険料や介護保険料の値下げをし、使える制度にしたいです。

大阪は子どもの貧困ワースト2位

つだ: 退職後に関わってきた住吉母親連絡会の運動では、母親や子どものことについて声をあげる大事さを痛感してきました。

大阪の子どもの貧困が沖縄県に次いでワースト2位です。これは親世代の貧困問題と働き方が背景にあると思います。子どもたちが社会で大切にされず、虐待や競争教育などで追いつていられない状況もあります。大阪府の子どもの貧困対策予算をもっと増やし、学校給食も完全に無償化するなど、子育て世代をささえる施策の充実が必要です。テスト漬けなどの競争と管理の教育をあらため、教師を増やして、1クラス35人以下の学級にし、どの子もわかる授業にすることも必要です。

陳情書が賛成多数で採択! 「学力テストの結果を給与に反映」は見直しを

井上: この間、「子育て・教育」の分野に力を入れて取り組んできました。

先日は、学力向上には教員増、多忙化の解消、少人数学級の実現など「子どもたちに教員が向きあえる体制づくり」が必要だと主張。学校現場に責任を転嫁する、学力テストの結果を教員給与などに反映させる方針の見直しを求めました。市民のみならずからも陳情書が寄せられ、維新以外の賛成多数で採択(2月18日)されました。また、学童保育の質の向上を求める陳情書も、国では基準緩和を推進する自民、公明もぶくめ全会一致で採択(2月22日)されました。

一致する点では立場の違いを超えて共同し、市民の願いを実現するまで筋を通して頑張れる日本共産党の役割が重要です。住吉区でもぜひ大きくしてください。

プロフィール

井上ひろし

1973年東京生まれ。子どもの頃は遊びにも勉強にも積極的に取り組む、活発で元気いっぱいの子でもでした。

曾祖母の影響で、私もいつか「人の役に立ちたい」と医療の道を志すようになりました。中学は茨城県の私学の進学校に進んだものの、そこでいきなり壁にぶつかりました。生徒たちの“自分で考える力”や“創造力”をはぐむことよりも、受験に勝ち抜くための知識と技術を教える学校教育のあり方に疑問を感じるようになり、大好きだった学校の勉強が大嫌いになってしまいました。中学・高校と柔道に熱中していましたが、医療への道を諦めきれず、苦痛だった受験も何とか乗り切りました。

大阪で鍼灸師になるための学校に通っていた頃、長崎での原水爆禁止世界大会に参加したことをきっかけに日本共産党に入党。鍼灸師として医療現場で働いた経験も通して、「医療も介護も安心して受けられる社会を」「戦争も核もない平和な世界を」の思いを原点に、2007年市会議員に初当選。

プロフィール

つだ洋子

1950年に島根県の間農家の3女として生まれました。子どもの頃はとてものんびりしていて、保育園の給食はいつも最後に食べ終える子でした。

祖父母と父母は朝から晩まで働き詰め、暮らしは楽ではありませんでした。釜での飯炊きや五右衛門風呂の水汲みと湯沸かしが子どもの仕事でした。中学生の頃は田植えや山の奥の田圃から稲束を担いで家まで運ぶ労働力でした。そんな暮らしの中で自立して働く看護師になろうと決めました。

県立安来高校から横浜市立大学付属看護学校へ進学し、横浜市大病院、大阪府立病院を経て、住吉民主診療所に就職しました。地域医療を行うと共に初代所長からシベリアに抑留された戦争体験を度々聴き、「平和を守り、二度と戦争への道を歩まないように」の思いを強くしました。また、現・中島所長には歴代の自民党政治によって壊されてきた医療・介護を改善するために活動をしようと励まされて働いてきました。

退職後は住吉母親連絡会の役員を引き受け、母親や子どものために声を上げてきました。

住吉区特集

- CONTENTS
- » 「住吉みん応援」わくわくプラン
 - » 井上ひろし&つだ洋子インタビュー

✉ inoue.hiroshi@ruby.plala.or.jp
井上ひろし 検索

**市会
定数5**



大阪市議員

井上ひろし

カジノ・都構想より
暮らし・防災を
最優先に
ブレずに信念貫く
党大阪市議団政調会長

✉ youko.tuda5@gmail.com
つだ洋子 検索

**府会
定数2**




党 住吉区
府政対策委員長

つだ洋子

こども・女性が
輝く大阪に
看護師40年
府民に寄り添う政治を!

● JCPサポーター大募集


2018年に始動したJCPサポーター。今まで政治に積極的に参加する機会がなかった方々とも、一緒に考え、行動するために、日本共産党が市民のみならずと立ち上げました。もっと政治を身近に。まずはお気軽に、登録(無料)してください。



● しんぶん赤旗電子版

お申込み月は無料
日刊紙……………3497円
日曜版(宅配のみ)……930円

憲法・原発・消費税・沖縄・国際問題を真正面から報道します。企業名もタブー無し。スポーツ、将棋まで幅広い紙面。



● 市民選挙ボランティア大募集

宣伝、ビラのポスティング、SNSに拡散、電話かけ、ポスター掲示、募金etc. 事務所にお気軽にお越しください。

〒558-0031 住吉区沢之町1-10-11
☎06-6685-1201 (木津川南地区委員会)
✉ kizugawa@amber.plala.or.jp

お困りのことがありましたらどんなことでもお気軽にご相談ください。
☎06-6673-3630 (井上ひろし市会議員事務所)